

スルホニルウレア剤抵抗性水田雑草の防除法

古川農業試験場

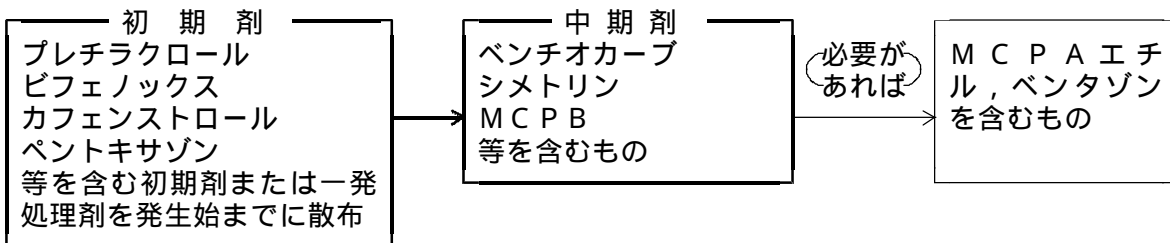
1 取り上げた理由

本県において出現を確認したスルホニルウレア系水田除草剤抵抗性雑草（以下，S U 抵抗性雑草）について防除法を検討した結果，効果が認められたので参考資料とする。

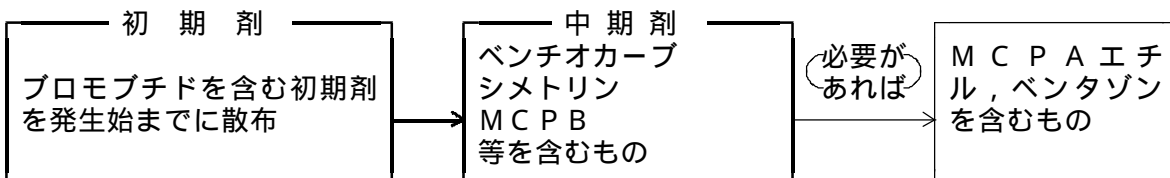
2 参考資料

S U 抵抗性雑草であっても下記体系で，防除は可能である。

1) アゼナ類（アゼナ・アメリカアゼナ・タケトアゼナ）の防除



2) イヌホタルイの防除



3 利活用の留意点

上記初期剤・中期剤の体系で，防除した場合でも更に残草を生じた場合には，以下の手段で防除し，翌年の種子源となる残草を残さないように努める。

- 1) 草丈 3 cm 以下で植物体が田面水中であれば，MCPエチル剤，または水深 1 ~ 2 cm に落水してベンタゾン粒剤を使用する。
- 2) 草丈が 5 cm 以上となり田面水から出て繁茂している場合は，完全に落水してベンタゾン液剤を使用する。
- 3) 翌年以降は，前掲の除草効果の認められる成分を含んだ，初期剤 + 中期剤の体系処理で数年間継続して防除することが望ましい。
- 4) 除草剤を効果的に使用するため，水田の均平化，漏水防止に努める。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

水田における新しい雑草制御技術の開発（平成11，12年）

2) 参考データ

SU剤抵抗性雑草現地防除試験（小牛田町・松山町・石越町）で防除効果が高かった処理。

アゼナ類防除に極大の効果を示した除草剤。（平成10年）

プロレチクロール粒剤 MCPB・シメトリン・ベンチオカーブ 粒剤
シハロホップ・プロチル・ジメタメトリン・ピラゾスルフロニエチル・プロレチクロール粒剤
イマゾスルフロニダ・イムロン・ベンチキサゾソフロアブル剤
イマゾスルフロニ・シハロホップ・プロチル・ジメタメトリン・プロレチクロール粒剤

イヌホタルイ防除に極大の効果を示した除草剤。（平成11・12年）

プロメトキシド・ベンチキサゾソ水和剤 シメトリン・メフェナセト・MCPB粒剤
シメトリン・ベンチオカーブ・メフェナセト・MCPB粒剤
カフェンストロール・シハロホップ・プロチル・ダ・イムロン・ベンズスルフロニメチル水和剤
ベンズスルフロニメチル・ベンチオカーブ・メフェナセト粒剤
ピフェノックス・ピリフチカルブ・プロメトキシド 水和剤 アジムスルフロニ・シハロホップ・プロチル・テニルクロール・ベンズスルフロニメチル粒剤
シハロホップ・プロチル・ジメタメトリン・ピラゾスルフロニエチル・プロレチクロール粒剤
テニルクロール・ピラゾキシフェン・プロメトキシド 水和剤 テニルクロール・ピリフチカルブ・ベンズスルフロニメチル水和剤
テニルクロール・ピリフチカルブ・ベンズスルフロニメチル水和剤
エスプロカルブ・ジメタメトリン・ピラゾスルフロニエチル・プロレチクロール粒剤
ピリフチカルブ・プロメトキシド・ベンゾフェナップ 水和剤 カフェンストロール・ダ・イムロン・ベンズスルフロニメチル水和剤
ジメタメトリン・ピラゾレート・プロレチクロール・プロメトキシド 粒剤 アジムスルフロニ・カフェンストロール・ダ・イムロン・ベンズスルフロニメチル粒剤
カフェンストロール・ピラゾレート・プロメトキシド 粒剤
ピリフチカルブ・プロメトキシド・ベンゾフェナップ 水和剤
ナプロアニリド・プロメトキシド・メフェナセト粒剤
ジメタメトリン・ピラゾレート・プロレチクロール・プロメトキシド 粒剤

3) 発表論文等